

# Ⅲ アンケート調査からみた経営動向

※ 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、D I を算出すると±0.1 ポイントの範囲で差異が生じることがある。

## 1 経営者の景況感と今後の景気見通し

### 現在の景況感

自社業界の景気について、「好況である」とみる企業は7.9%、「不況である」とみる企業は38.5%で、景況感D I（「好況である」-「不況である」の企業割合）は▲30.6となった。前期（▲30.3）から0.3ポイント減少し、3期連続で悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

「好況である」とみる企業は9.3%、「不況である」とみる企業は36.4%で、景況感D Iは▲27.0となった。前期（▲25.5）から1.5ポイント減少し、2期連続で悪化した。

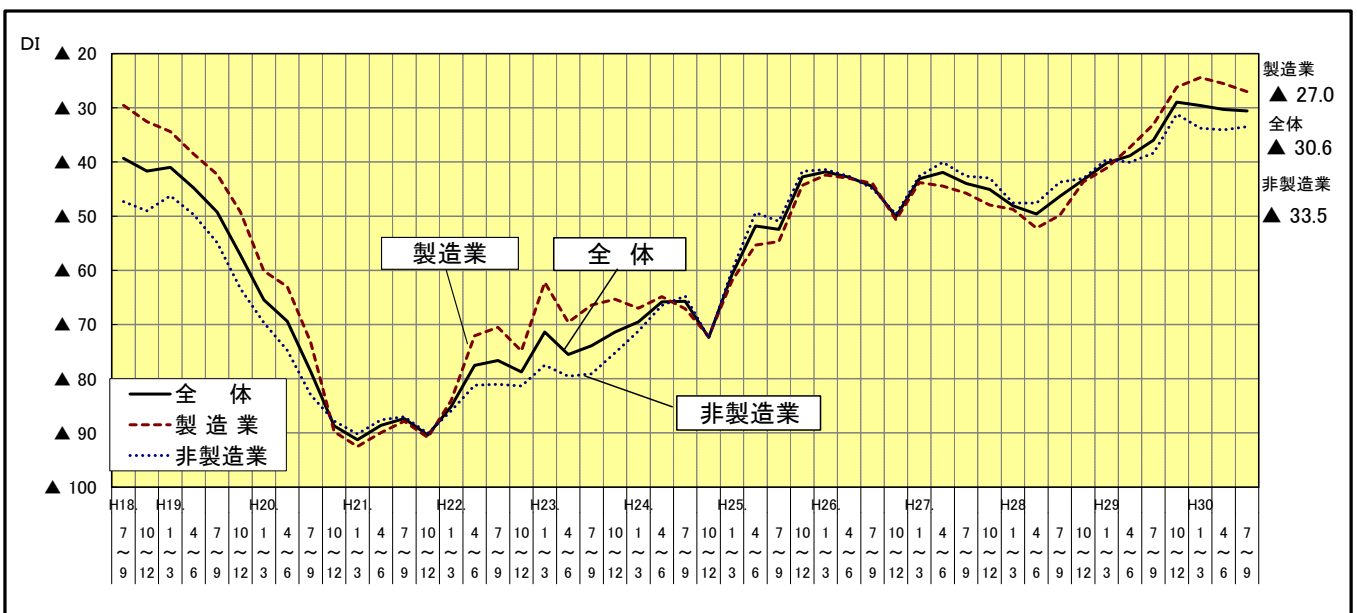
業種別にD I 値をみると、12業種中、「食品製造」「パルプ・紙・紙加工品」「印刷業」「金属製品」の4業種が前期から改善し、それ以外の8業種は悪化した。特に、「輸送用機械器具」は前期比で10.2ポイント低下した。

##### ○非製造業

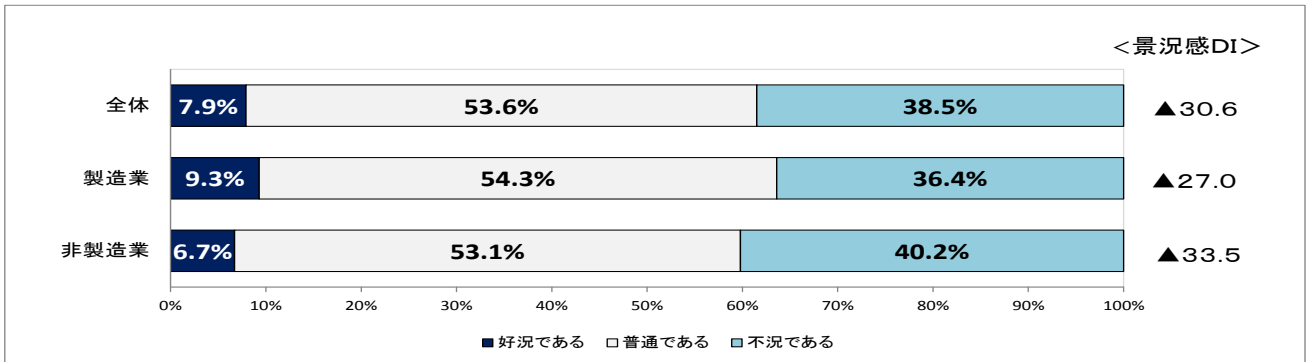
「好況である」とみる企業は6.7%、「不況である」とみる企業は40.2%で、景況感D Iは▲33.5となった。前期（▲34.1）から0.6ポイント増加し、3期ぶりに改善した。

業種別にD I 値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「運輸業」「サービス業」の4業種が前期から改善した。一方「卸売・小売業」「飲食店」「不動産業」は悪化した。

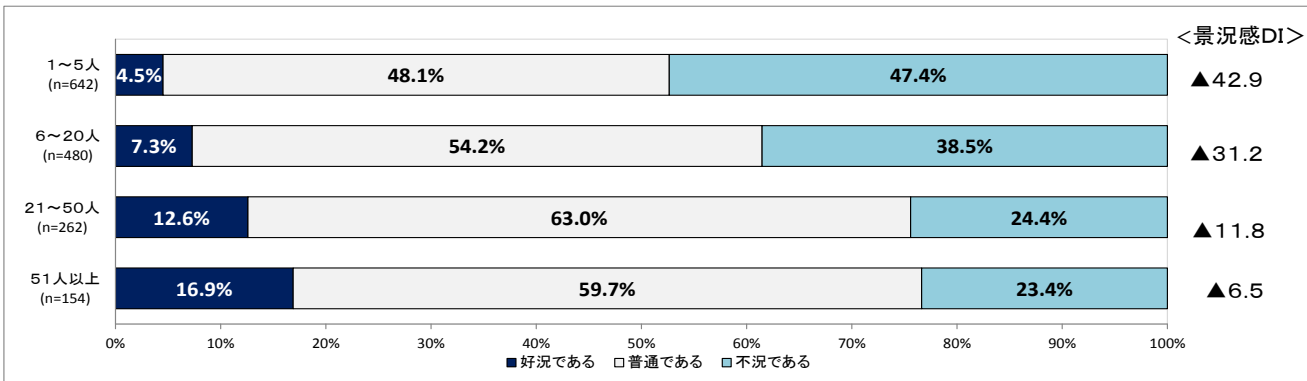
### 景況感D I の推移



## 業種別景況感DI



## 従業員規模別景況感DI



## 来期（平成30年10～12月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は10.9%（前回調査(H30.4-6月)比+1.2ポイント）、「悪い方向に向かう」とみる企業は19.0%（前回調査比▲2.7ポイント）だった。先行きDIは▲8.1（前回調査比+3.9ポイント）と、2期ぶりに改善した。

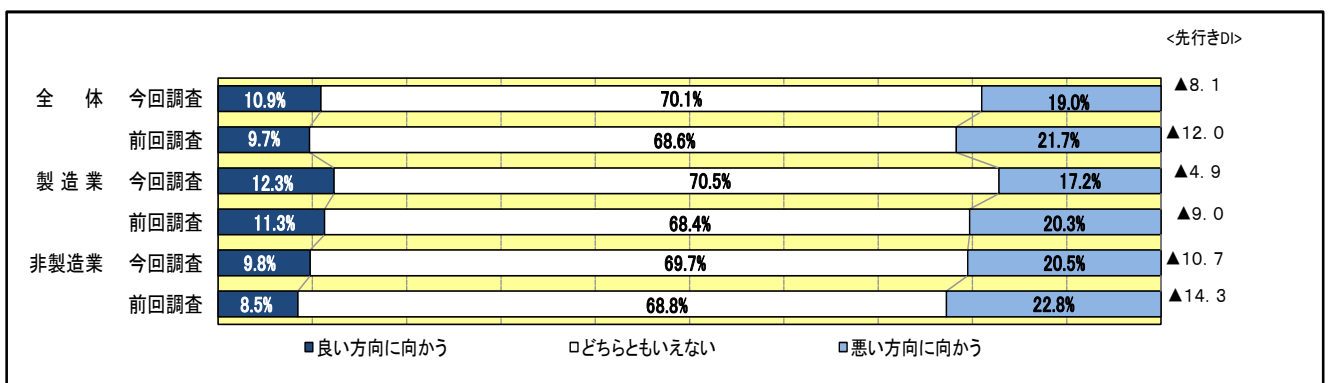
### <業種別>

○製造業 先行きDI ▲4.9（前回調査比+4.1）

「良い方向に向かう」とみる企業は12.3%、「悪い方向に向かう」とみる企業は17.2%で、「良い方向に向かう」が前回調査から1.0ポイント増加した。

○非製造業 先行きDI ▲10.7（前回調査比+3.6）

「良い方向に向かう」とみる企業は9.8%、「悪い方向に向かう」とみる企業は20.5%で、「良い方向に向かう」が前回調査より1.3ポイント増加した。



## 景況感DIの推移

単位：DI

業種	H29.	10~12月期	H30.	4~6月期	H30.	増減		H30.
	7~9月期		1~3月期		7~9月期 (当期)	対前期	対前年同期	10~12月期 (見通し)
<b>全体</b>	▲ 36.0	▲ 29.0	▲ 29.6	▲ 30.3	▲ 30.6	▲ 0.3	5.4	▲ 8.1
<b>製造業</b>	▲ 33.1	▲ 26.2	▲ 24.4	▲ 25.5	▲ 27.0	▲ 1.5	6.1	▲ 4.9
食料品製造	▲ 41.5	▲ 34.5	▲ 39.7	▲ 45.9	▲ 42.6	3.3	▲ 1.1	0.0
繊維工業	▲ 56.1	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 44.6	▲ 48.3	▲ 3.6	7.9	▲ 19.6
家具・装備品	▲ 46.8	▲ 35.7	▲ 33.3	▲ 28.6	▲ 38.5	▲ 9.9	8.3	▲ 4.0
パルプ・紙・紙加工品	▲ 56.7	▲ 52.6	▲ 55.6	▲ 59.6	▲ 47.5	12.2	9.2	▲ 13.0
印刷業	▲ 64.3	▲ 48.3	▲ 50.0	▲ 68.5	▲ 55.8	12.7	8.5	▲ 32.1
化学工業	▲ 10.3	▲ 6.9	▲ 11.1	▲ 5.4	▲ 5.6	▲ 0.2	4.8	▲ 1.9
プラスチック製品	▲ 27.4	▲ 33.3	▲ 16.4	▲ 22.6	▲ 28.6	▲ 6.0	▲ 1.2	▲ 12.7
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 16.9	▲ 1.9	▲ 1.8	3.8	▲ 5.4	▲ 9.1	11.6	1.8
金属製品	▲ 18.2	▲ 1.9	▲ 5.2	▲ 10.5	▲ 8.3	2.2	9.8	10.5
電気機械器具	▲ 32.9	▲ 22.7	▲ 13.1	▲ 22.0	▲ 23.1	▲ 1.0	9.8	1.6
輸送用機械器具	▲ 10.5	▲ 7.3	▲ 8.9	0.0	▲ 10.2	▲ 10.2	0.4	5.4
一般機械器具	▲ 19.4	▲ 21.0	▲ 19.4	▲ 6.9	▲ 14.1	▲ 7.2	5.3	1.6
<b>非製造業</b>	▲ 38.4	▲ 31.2	▲ 33.8	▲ 34.1	▲ 33.5	0.6	4.9	▲ 10.7
<b>建設業</b>	▲ 35.9	▲ 25.9	▲ 27.9	▲ 36.0	▲ 29.9	6.1	6.0	▲ 3.0
総合工事業	▲ 33.3	▲ 38.5	▲ 28.8	▲ 42.1	▲ 40.7	1.4	▲ 7.4	▲ 22.6
職別工事業	▲ 43.9	▲ 22.4	▲ 44.4	▲ 40.4	▲ 33.9	6.4	9.9	13.5
設備工事業	▲ 30.4	▲ 18.8	▲ 11.9	▲ 26.2	▲ 17.2	9.0	13.2	0.0
<b>卸売・小売業</b>	▲ 51.5	▲ 45.6	▲ 49.8	▲ 45.8	▲ 48.2	▲ 2.4	3.3	▲ 22.6
(卸売業)	▲ 41.7	▲ 30.0	▲ 40.8	▲ 38.0	▲ 38.2	▲ 0.3	3.5	▲ 15.8
繊維・衣服等	▲ 59.3	▲ 59.1	▲ 64.0	▲ 36.8	▲ 44.4	▲ 7.6	14.8	▲ 40.7
飲食料品	▲ 39.3	▲ 33.3	▲ 32.1	▲ 26.9	▲ 39.3	▲ 12.4	0.0	▲ 18.5
建築材料・鉱物・金属材料等	▲ 39.3	▲ 26.9	▲ 40.9	▲ 50.0	▲ 45.8	4.2	▲ 6.5	▲ 17.4
機械器具	▲ 25.9	▲ 7.4	▲ 17.9	▲ 25.8	▲ 25.0	0.8	0.9	7.1
その他	▲ 44.8	▲ 28.6	▲ 51.9	▲ 52.0	▲ 37.9	14.1	6.9	▲ 10.7
(小売業)	▲ 59.8	▲ 58.8	▲ 57.6	▲ 52.2	▲ 56.2	▲ 4.0	3.5	▲ 28.2
繊維・衣服・身の回り品	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 71.0	▲ 69.7	▲ 59.5	10.2	15.5	▲ 36.1
飲食料品	▲ 61.0	▲ 55.3	▲ 63.9	▲ 53.8	▲ 63.4	▲ 9.6	▲ 2.4	▲ 30.8
機械器具	▲ 55.3	▲ 61.5	▲ 47.4	▲ 43.6	▲ 45.5	▲ 1.9	9.8	▲ 11.9
その他	▲ 48.9	▲ 47.7	▲ 52.2	▲ 45.8	▲ 57.4	▲ 11.6	▲ 8.6	▲ 34.8
<b>飲食店</b>	▲ 48.6	▲ 44.2	▲ 47.6	▲ 42.2	▲ 45.8	▲ 3.6	2.8	▲ 20.9
<b>情報サービス業</b>	▲ 20.6	▲ 14.1	▲ 5.3	▲ 8.5	▲ 3.5	5.0	17.1	7.7
<b>運輸業</b>	▲ 16.9	0.0	▲ 9.1	▲ 9.8	0.0	9.8	16.9	9.8
<b>不動産業</b>	▲ 25.4	▲ 31.6	▲ 21.3	▲ 33.9	▲ 40.7	▲ 6.8	▲ 15.3	▲ 15.7
<b>サービス業</b>	▲ 33.9	▲ 25.9	▲ 30.7	▲ 27.5	▲ 27.2	0.4	6.7	▲ 6.4
専門サービス業	▲ 18.8	▲ 8.5	▲ 4.3	▲ 14.0	▲ 6.8	7.2	11.9	0.0
洗濯・理美容・浴場業	▲ 54.5	▲ 52.6	▲ 64.9	▲ 39.5	▲ 42.5	▲ 3.0	12.0	▲ 13.2
その他生活関連・娯楽業	▲ 38.3	▲ 27.9	▲ 41.0	▲ 31.7	▲ 34.1	▲ 2.4	4.2	2.5
その他の事業サービス業	▲ 23.7	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 28.9	▲ 27.0	1.9	▲ 3.3	▲ 17.1

## 2 売上げについて

### 当期（平成30年7～9月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」企業は18.9%、「減少した」企業は33.4%で、売上げD I（「増加した」－「減少した」企業の割合）は▲14.5となった。  
前期（▲16.3）から1.8ポイント増加し、2期連続で改善した。

#### <業種別>

##### ○製造業

売上げが「増加した」企業は20.7%、「減少した」企業は30.5%で、売上げD Iは▲9.8となった。前期(▲10.5)から0.7ポイント増加し、2期連続で改善した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「食料品製造」「パルプ・紙・紙加工品」「化学工業」「金属製品」「電気機械器具」の5業種が前期から改善した。特に、「電気機械器具」は前期比で34.1ポイント増加した。

##### ○非製造業

売上げが「増加した」企業は17.5%、「減少した」企業は35.8%で、売上げD Iは▲18.3となった。前期(▲20.8)から2.5ポイント増加し、2期連続で改善した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「運輸業」が前期から改善した。特に、「運輸業」は前期比で25.7ポイント増加した。

#### <売上げ実績>

	増えた	変わらない	減った	D I	対前期	対前年同期
全 体	18.9%	47.6%	33.4%	▲14.5	1.8	2.9
製 造 業	20.7%	48.8%	30.5%	▲9.8	0.7	0.9
非製造業	17.5%	46.7%	35.8%	▲18.3	2.5	4.5

### 来期（平成30年10～12月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する」見通しの企業は23.9%、「減少する」見通しの企業は22.0%であった。  
当期の売上げD I（▲14.5）と比べて、来期D Iは1.9（当期比+16.4ポイント）と、改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の売上げD Iは6.5（当期比+16.3ポイント）と改善する見通しである。

非製造業の来期の売上げD Iは▲1.9（当期比+16.4ポイント）と改善する見通しである。

(注)全業種の集計結果とD Iの推移は付表(P31以降)をご覧ください。

### 3 資金繰りについて

#### 当期（平成30年7～9月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」企業は8.1%、「悪くなった」企業は23.9%で、資金繰りDI（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は▲15.8となった。前期（▲13.8）から2.0ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

資金繰りが「良くなった」企業は8.1%、「悪くなった」企業は23.0%で、資金繰りDIは▲14.8となった。前期（▲11.5）から3.3ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「食料品製造」「繊維工業」「家具・装備品」「印刷業」「鉄鋼業・非鉄金属」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の7業種が前期から悪化した。特に、「家具・装備品」は前期比で18.0ポイント減少した。

##### ○非製造業

資金繰りが「良くなった」企業は8.0%、「悪くなった」企業は24.7%で、資金繰りDIは▲16.6となった。前期（▲15.7）から0.9ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、「建設業」「飲食店」「情報サービス業」「サービス業」の4業種が前期から悪化した。

#### <資金繰り実績>

	良くなった	変わらない	悪くなった	DI	対前期	対前年同期
全 体	8.1%	68.0%	23.9%	▲15.8	▲2.0	0.3
製 造 業	8.1%	68.9%	23.0%	▲14.8	▲3.3	0.6
非製造業	8.0%	67.3%	24.7%	▲16.6	▲0.9	0.1

#### 来期（平成30年10～12月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる」見通しの企業は10.7%、「悪くなる」見通しの企業は18.5%であった。

当期の資金繰りDI（▲15.8）と比べて、来期DIは▲7.7（当期比＋8.1ポイント）と改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の資金繰りDIは▲6.3（当期比＋8.5ポイント）と、改善する見通しである。

非製造業の来期の資金繰りDIは▲8.9（当期比＋7.7ポイント）と、改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とDIの推移は付表（P31以降）をご覧ください。

## 4 採算について

### 当期（平成30年7～9月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」企業は9.2%、「悪くなった」企業は32.9%で、採算D I（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は、▲23.6となった。  
前期（▲21.9）から1.7ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

採算が「良くなった」企業は9.4%、「悪くなった」企業は30.3%で、採算D Iは▲20.9となった。前期（▲17.1）から3.8ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、「パルプ・紙・紙加工品」「印刷業」「電気機械器具」以外の9業種が前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で21.0ポイント減少した。

##### ○非製造業

採算が「良くなった」企業は9.1%、「悪くなった」企業は35.0%で、採算D Iは▲25.9となった。前期（▲25.7）から0.2ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、「建設業」「運輸業」以外の5業種が前期から悪化した。が、「運輸業」は前期比で21.0ポイント増加した。

#### <採算実績>

	良くなった	変わらない	悪くなった	D I	対前期	対前年同期
全 体	9.2%	57.9%	32.9%	▲23.6	▲1.7	▲2.9
製 造 業	9.4%	60.4%	30.3%	▲20.9	▲3.8	▲2.7
非製造業	9.1%	56.0%	35.0%	▲25.9	▲0.2	▲3.0

### 来期（平成30年10～12月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる」見通しの企業は12.2%、「悪くなる」見通しの企業は23.2%だった。

当期の採算D I（▲23.6）と比べて、来期D Iは▲11.0（当期比+12.6ポイント）と、改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の採算D Iは▲8.4（当期比+12.5ポイント）と、改善する見通しである。

非製造業の来期の採算D Iは▲13.2（当期比+12.7ポイント）と、改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P31以降）をご覧ください。

## 5 設備投資について

### 当期（平成30年7～9月期）の状況

当期に設備投資を実施した企業は23.5%で、前期（21.1%）から2.4ポイント増加した。また、前年同期（22.5%）からは1.0ポイント増加した。

内容をみると、「生産・販売設備」が42.7%で最も高く、「車輛・運搬具」が31.0%、「建物」が19.1%と続いている。

目的では、「更新・維持・補修」が60.7%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が32.1%、「合理化・省力化」が20.2%と続いている。

#### <業種別>

（注）設備投資実施率と設備投資の内容・目的の詳細はP21、P22をご覧ください。

##### ○製造業

設備投資を実施した企業は28.6%で、前期（25.9%）から2.7ポイント増加し、2期連続で増加した。また、前年同期（28.1%）からは0.4ポイント増加した。

業種別にみると、12業種中、「家具・装備品」「金属製品」「輸送用機械器具」の3業種が前期から減少したが、それ以外の9業種は増加した。

設備投資の内容は「生産・販売設備」が62.2%で最も高く、次いで「建物」が20.9%、「車輛・運搬具」が19.9%と続いている。

設備投資の目的は、「更新・維持・補修」が61.2%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が37.2%、「合理化・省力化」が26.5%と続いている。

##### ○非製造業

設備投資を実施した企業は19.5%で、前期（17.3%）から2.2ポイント増加し、3期ぶりに増加した。また、前年同期（17.8%）からは1.7ポイント増加した。

業種別にみると、「建設業」以外の6業種が前期から増加した。

設備投資の内容は、「車輛・運搬具」が44.2%で最も高く、次いで「情報化機器」が24.8%、「建物」が17.0%と続いている。

設備投資の目的では、「更新・維持・補修」が60.0%で最も高く、次いで「生産・販売能力の拡大」が26.1%、「合理化・省力化」が12.7%と続いている

#### <設備投資実施率>

	実施した	実施しなかった	対前期	対前年同期
全 体	23.5%	76.5%	2.4	1.0
製 造 業	28.6%	71.4%	2.7	0.4
非製造業	19.5%	80.5%	2.2	1.7



## 来期（平成30年10～12月期）の見通し

来期に設備投資を実施する予定の企業は19.2%で、当期(23.5%)から、4.3ポイント減少する見通しである。

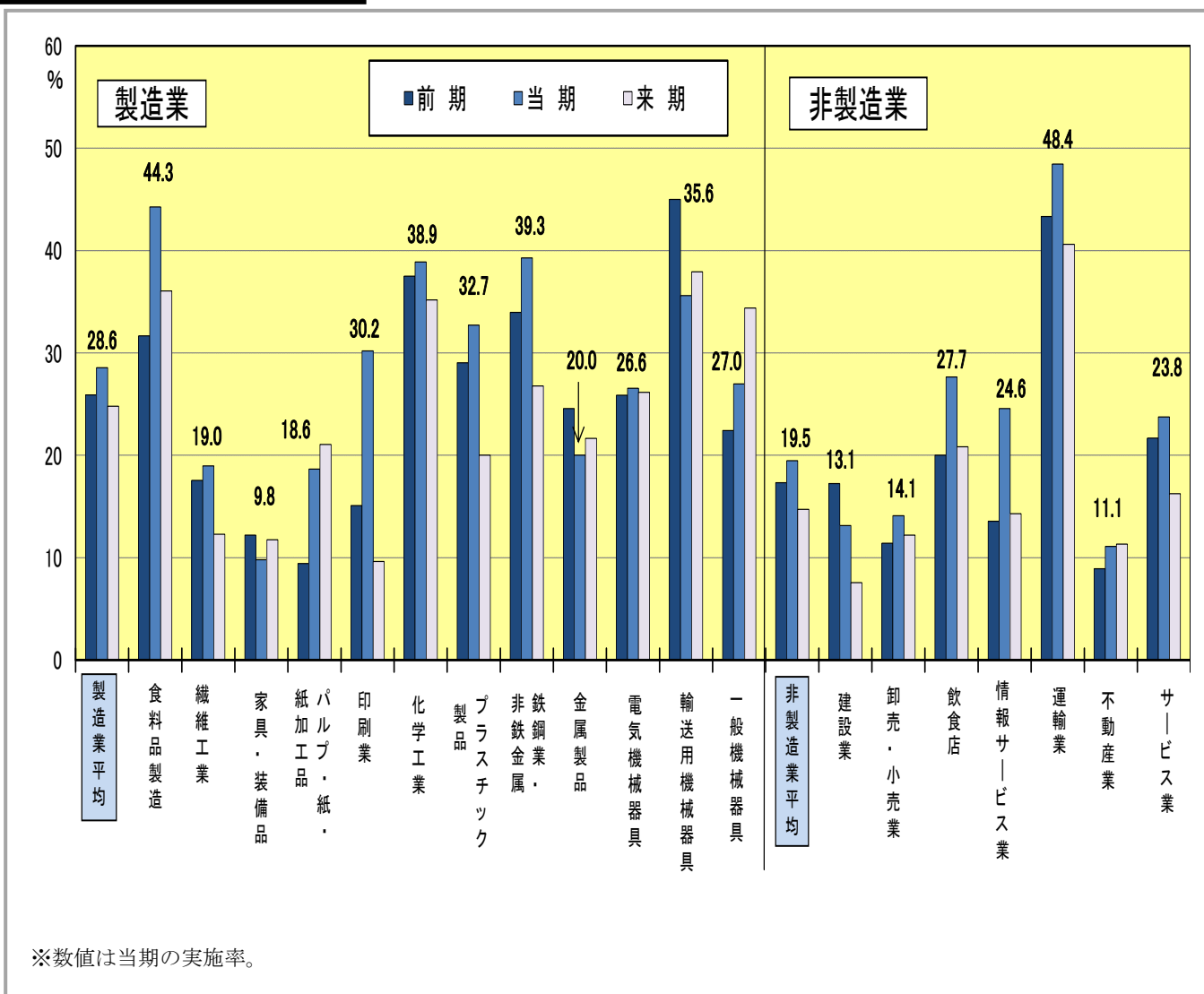
### <業種別>

設備投資を予定している企業は、製造業で24.8%、非製造業で14.7%となっている。

当期に比べ、製造業、非製造業ともに減少する見通しである。

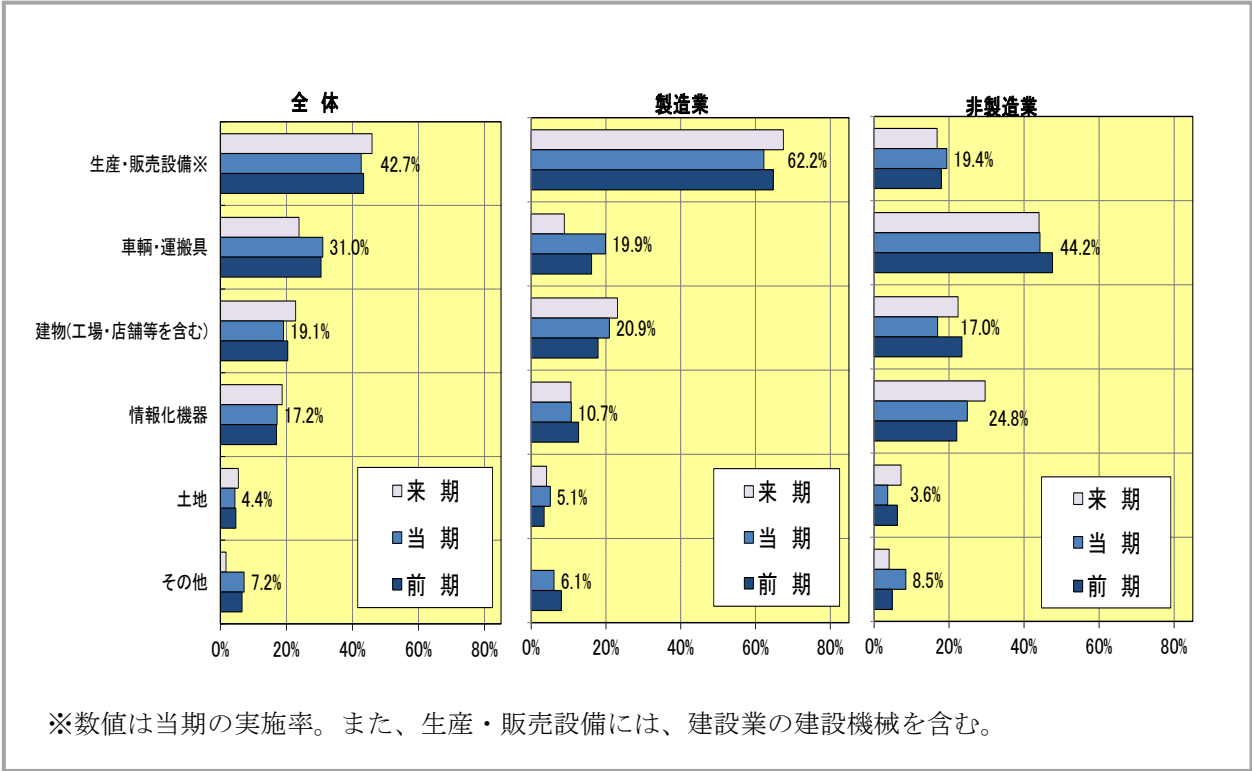
(注)設備投資実施率の推移は付表(P34、P36)をご覧ください。

### 業種別・設備投資実施率





## 設備投資の内容【複数回答】



## 設備投資の目的【複数回答】

